令和８（2026）年度第80回記念栃木県芸術祭美術展審査結果（日本画部門）

○ 応 募 総 数　　３２　点　［　３６　点］
○ 入 賞 点 数　　９　点　［　９　点］
○ 入 選 点 数　　２３　点　［　２７　点］　＊［　］内は昨年度

【審査寸評】

80回記念展、出品者一人ひとりの研鑽と創意が感じられる力作が寄せられた。作品の一つ一つに、作者それぞれの感性や表現への探求が求められており、日本画の伝統を踏まえながら、現代の視点がうかがえ、今後も本芸術祭が、研鑽と交流の場として、栃木県の日本画の発展と次代の継承に寄与していく事を期待する。

○芸術祭賞　　「朝（あさ）を待つ」

時の移ろいを表す桜の花と着物の少女の構成が良く、日本画の伝統をふまえながら作者の独自の視点、オリジナリティが評価されたと思う。描写も細部まで丁寧に描かれて作者の感性の高さがうかがえ好感が持てる作品である。

○第８０回記念賞　　「母（はは）のリヤカー」

長い間、農作業に使われていたであろうリヤカーと道具たちが、作者の温かい眼差しを通して描かれている。寒色と暖色、明度・彩度、そして、粒度の違いを巧みに使い分け、奥行きのある作品に仕上がっている。

○準芸術祭賞　　「蓮（はす）」

しっかりしたデッサン力と、色彩感覚のバランスもよい。技術力もしっかりしていて、すばらしい。

○準芸術祭賞　　「星（ほし）のささやき」

画面を上下半分に区切った大胆な構図がひときわ目を引く作品である。一見シンプルに見える色づかいの中にも、多様なマチエールや線描での表現など巧みな構成が光り、作者の明確な意図が伺える作品である。

○　芸術祭賞

張　雪桐（ちょう　せつとう）　（宇都宮市）　「朝を待つ（あさ　ま）」

○　第８０回記念賞

猪瀬　藤衛（いのせ　ふじえい）　（上三川町）　「母（はは）のリヤカー」

○　準芸術祭賞

半田　守可（はんだ　もりよし）　（宇都宮市）　「蓮（はす）」

川村　敏博（かわむら　としひろ）　（宇都宮市）　「星（ほし）のささやき」

○　栃木トヨタ自動車賞（Ｕ２５賞）　該当なし

○　芸術祭奨励賞

鈴木　京子（すずき　きょうこ）　（宇都宮市）　「初夏（しょか）の風（かぜ）」

宮島　郁子（みやじま　いくこ）　（宇都宮市）　「鬼灯（ほおずき）（ホオズキ）の願（ねが）い」

田代　幸枝（たしろ　ゆきえ）　（那須町）　「還（かえ）る～ウコンザクラ～」

齋藤　晶（さいとう　あきら）　（東京都）　「爛漫（らんまん）」

木下　大輝（きのした　だいき）　（宇都宮市）　「水鏡（すいきょう）」

令和８（2026）年度第８０回記念栃木県芸術祭美術展審査結果（書道部門）

○ 応 募 総 数　　３３８　点　　［　２９４点］
○ 入 賞 点 数　　１６　点　　［　１３点］
○ 入 選 点 数　　２０４　点　　［　１９２点］　　＊［　］内は昨年度

【審査寸評】

応募点数３３８点、前年より４４点増であった。増加の中でも高校生の出品が２９点、25 歳以下は１６点、出品点数増加の要因は若い方たちの意欲的な参加であり、今後の明るい兆しを感じた。各ジャンルの入選率は変化があった。優れた作品が多く、賞の決定は時間をかけた。総合的に出品点数の増加は第８０回記念にふさわしい美術展となった。

○芸術祭賞　　「兆祥（ちょうしょう）」

美しい薄墨の作品である。一文字のバランスが良く調和して、心地良いハーモニーを醸し出している。特に「祥」の「ネ」から「羊」に移る空間の処理が軽妙であるところが、成功に結び付いた要因である。

○第８０回記念賞　　「雷聲驚客聽（らいせいきゃくをおどろかすをきく）」

気迫ある書線が漲り、紙面全体に躍動感を表出している。中央の「驚」は、意表を突いた造形美である。

○準芸術祭賞　　「車服不維（しゃふくふい）」

15㎝ を超える大印は堂々たる迫力。線の切れ味も四字の配置もすばらしい。これだけの大印を彫り上げるのは、並みはずれた腕力と精神力がなければ成し遂げられない。まさに脱帽の大作。

○準芸術祭賞　　「岑参詩（しんじんし）」

北魏の楷書を基調として、接点を極力控えて余白を効果的に残すことで充実した一点一画の線が堂々と見えるように工夫している。作品の見せ場を意識した構成でのびやかな線が余白をおさえ、空間の広がりを表現している作品である。

○栃木トヨタ自動車賞（Ｕ２５賞）　　「近業二種（きんぎょうにしゅ）」

朱、白の二顆印。精妙な刀法で、切れ味よくまとめた。朱文印は強く、白文印は多字数を絶妙にまとめ上げた、秀作。

○　芸術祭賞

花塚（はなづか）　香陽（こうよう）　（さくら市）　「兆祥（ちょうしょう）」

○　第８０回記念賞

大塚（おおつか）　雅恵（まさえ）　（真岡市）　「雷聲驚客聴（らいせいきゃくをおどろかす）」

○　準芸術祭賞

阿見（あみ）　知慧美（ちえみ）　（矢板市）　「車服不維（しゃふくふい）」

松尾（まつお）　光晴（みつはる）　（小山市）　「岑参詩（しんじんし）」

○　栃木トヨタ自動車賞（Ｕ２５賞）

渡邉（わたなべ）　啓太（けいた）　（矢板市）　「近業二種（きんぎょうにしゅ）」

○　芸術祭奨励賞

星（ほし）　司光（しこう）　（宇都宮市）　「ふるさと」

渡邊（わたなべ）　春峰（しゅんぽう）　（壬生町）　「うぐひす」

作佐部（さくさべ）　京子（きょうこ）　（宇都宮市）　「無盡蔵（むじんぞう）」

直井（なおい）　幸子（さちこ）　（さくら市）　「魄（はく）」

渡邉（わたなべ）　大樹（たいき）　（鹿沼市）　「孫賁詩（そんふんし）」

岩上（いわかみ）　智和（ともかず）　（上三川町）　「韋應物詩（いおうぶつし）」

柏﨑（かしわざき）　麗泉（れいせん）　（下野市）　「朱放詩（しゅほうし）」

中原（なかはら）　藍（あい）　（宇都宮市）　「一歩（いっぽ）を刻（きざ）め」

福岡（ふくおか）　俊介（しゅんすけ）　（宇都宮市）　「鐵眼（てつげん）」

山本（やまもと）　響花（きょうか）　（宇都宮市）　「霧雨（きりさめ）の空（そら）」

和賀（わが）　幸恵（ゆきえ）　（鹿沼市）　「玉華山（ぎょかざん）」

令和８（2026）年度第80回記念栃木県芸術祭美術展審査結果（写真部門）

○応募総数　　３３４　点　　［　３０３　点］
○応募者数　　１７５　人　　［　１６１　人］
○入賞点数　　１５　点　　［　１３　点］
○入選点数　　１３３　点　　［　１４０　点］　　＊［　］内は昨年度

【審査寸評】

第80回記念栃木県芸術祭美術展という節目の年にみなさんの写真作品を拝見させていただきました。ますます多様な写真表現の中で、奮闘されているみなさんの写真生活が想像でき貴重な時間となりました。よい写真を作り上げるだけでなく豊かな心を写真で満たそうとされている作品も数多くあり、美術展の未来を感じさせました。今後、ベテラン写真愛好家のみなさんに加え、若い世代の方々もより参加されることで、「カメラ」はいつの時代でも人間に寄り添ってくれるものであると伝わってくることを心より祈ります。

○芸術祭賞　　「タウンワーカー」

私たちが普通見ているようで実は見ていない、あるいは見えてこない光景。カメラはそうしたちょっとした出来事に素朴に立ち会うことで、「日常」というものがどのようにして成り立っているかを知ることができます。まさに「タウンワーカー」のみなさんがこうして汗を流し街を支えているわけです。そしてまた行き交う通行人の方々も日々を豊かなものにすべく、街に生きています。そうした生活実感とスナップショットならではの偶然性が同時に表現されています。つまりここには私たちそのものが率直に写っているのです。

○第80回記念賞　　「火輪乱舞（ひのわらんむ）」

群馬県南牧村の「火とぼし」。カメラならではとらえることのできる火輪乱舞。そこではしばし継続する時間のみならず、400年以上も前から伝わる時間さえも伝わってきます。作者はその構図設定や露光時間などとても落ち着いてセッティングされたようで、火輪が川の水に映る模様は夢のように美しく、また妖しい魅力。そうした「全体」を一枚で見事に表現しています。

○準芸術祭賞　　「未来に向（みらいむ）かって」

階段を登る人物のシルエットがあたかもＳＦの宇宙船にでも吸い込まれる様な映画の一コマの様。階段にレクレックスレンズを活用しての玉ボケも美しくこの画面にインパクトをあたえる表現とされました。

○準芸術祭賞　　「綿毛（わたげ）でおめかし」

マクロレンズで背景をボカし、中心の花に虫を入れたことで顔の感じがよくでた作品になりました。

○栃木トヨタ自動車賞（Ｕ２５賞）　　「一瞬千金（いっしゅんせんきん）」

ゴールした男子学生の最高の笑顔、万歳をする女子たち。その後ろにいる父兄のみなさん。役者がきれいにそろいました。実際の競技であろうと、あるいは、セットアップの演出写真であったとしても、写真を見るこちらも楽しくうれしくなる「瞬間」です。こうして写真は「晴れの日」の貴重な記録となっていくべきもの。U25 賞にふさわしい、軽快な走りです！！タイトルも素晴らしい！！

○　芸術祭賞

森嶋（もりしま）　隆（たかし）　（小山市）　「タウンワーカー」

○　第８０回記念賞

角田（かくた）　久（ひさし）　（宇都宮市）　「火輪乱舞（ひのわらんむ）」

○　準芸術祭賞

中野（なかの）　一郎（いちろう）　（栃木市）　「未来（みらい）に向（む）かって」

中川（なかがわ）　万里子（まりこ）　（宇都宮市）　「綿毛（わたげ）でおめかし」

○　栃木トヨタ自動車賞（Ｕ２５賞）

菊池（きくち）　真央（まお）　（さくら市）　「一瞬千金（いっしゅんせんきん）」

○　芸術祭奨励賞

髙楯（たかはし）　郁夫（いくお）　（日光市）　「天空（てんくう）の祈（いの）り」

岡（おか）　典子（のりこ）　（那珂川町）　「桜（さくら）の下（した）で輪と和（わ）」

駒場（こまば）　恵美子（えみこ）　（宇都宮市）　「家路（いえじ）」

根岸（ねぎし）　幸雄（ゆきお）　（小山市）　「１／15 秒（びょう）の残火（ざんか）」

黒崎（くろさき）　修一（しゅういち）　（芳賀町）　「残暑（ざんしょ）に佇（たたづ）む」

川副（かわぞえ）　幸子（さちこ）　（小山市）　「やさしい時間（とき）」

石川（いしかわ）　武男（たけお）　（真岡市）　「光景（こうけい）」

鈴木（すずき）　正恵（まさえ）　（宇都宮市）　「祈願（きがん）」

小畑（こばたけ）　清香（さやか）　（宇都宮市）　「響（ひび）く鼓動（こどう）」

石塚（いしづか）　祐介（ゆうすけ）　（足利市）　「ボクノカブト」

岩橋直子	宇都宮市
篠﨑一郎	宇都宮市
田畑邦弘	宇都宮市
前田廣子	宇都宮市
杉山由比子	宇都宮市
剣持光子	宇都宮市
峯田アキ子	宇都宮市
塩野登美子	宇都宮市
久米久枝	足利市
新井純	栃木市
癸生川桃子	栃木市
仁戸部三重子	栃木市
大塚愛	栃木市
青山紫翠	佐野市
小橋操	佐野市
廣田伸子	鹿沼市
角田裕雅理	小山市
柳田眞由美	真岡市
阿部光子	真岡市
横塚定美	真岡市
細谷英子	真岡市
髙橋やい子	真岡市
村上ゆかり	矢板市

猪瀬あゆ美　宇都宮市
小野﨑啓太　宇都宮市
笹沼奈津子　宇都宮市
鈴木聖寶　宇都宮市
鈴木美代子　宇都宮市
廣川紅舟　宇都宮市
松本光司　宇都宮市
吉岡玉雲　宇都宮市
大原綾月　宇都宮市
川上天峯　宇都宮市
齋藤房子　宇都宮市
相良久子　宇都宮市
鈴木陽東　宇都宮市
髙久茂勝　宇都宮市
髙根澤深幸　宇都宮市
髙**楀**麻季代　宇都宮市
栃村信子　宇都宮市
真壁純枝　宇都宮市
村上千津子　宇都宮市
渡辺温芳　宇都宮市
赤羽根義貴　宇都宮市
伊澤玲子　宇都宮市
井野維子　宇都宮市
上野紅鴛　宇都宮市
江田真粧美　宇都宮市
岡村白秋　宇都宮市
奥備　愛　宇都宮市
小倉奏樂　宇都宮市
加藤優里　宇都宮市
金田忠士　宇都宮市
金田玲華　宇都宮市
倉田安子　宇都宮市
黒川香織　宇都宮市
小林真緒　宇都宮市
齋藤寶統　宇都宮市
渋江真璃　宇都宮市
嶋田香紗　宇都宮市
鈴木游里　宇都宮市
鶴見晨蒲　宇都宮市
中村優介　宇都宮市

奈良原翠風　宇都宮市
福富古龍　宇都宮市
藤沼亜衣　宇都宮市
森戸菜月　宇都宮市
山本光樟　宇都宮市
我妻淡雅　宇都宮市
徳永詩　宇都宮市
岩瀬響鼓　宇都宮市
絵面蛍悦　宇都宮市
釜井詔子　宇都宮市
釜井光江　宇都宮市
神藤信游　宇都宮市
下司香雪　宇都宮市
黒﨑秀月　宇都宮市
小瀧光聴　宇都宮市
小林春霞　宇都宮市
小林杜子　宇都宮市
小室響川　宇都宮市
齋藤洋子　宇都宮市
坂内葉胡　宇都宮市
三條心堂　宇都宮市
始澤多恵　宇都宮市
柴田響水　宇都宮市
柴田宗寿　宇都宮市
柴﨑隆誓　宇都宮市
菅野叶人　宇都宮市
須永純子　宇都宮市
髙橋香代子　宇都宮市
髙橋　陸　宇都宮市
塚田湊心　宇都宮市
恒川典濤　宇都宮市
登坂時子　宇都宮市
栃木洋子　宇都宮市
生井珀羊　宇都宮市
萩野谷香華　宇都宮市
萩野谷聡美　宇都宮市
長谷川正子　宇都宮市
平塚祐子　宇都宮市
防木正華　宇都宮市
山岡登美　宇都宮市

山田千代	宇都宮市
山本晴子	宇都宮市
尾嶋得司	宇都宮市
青木翠風	足利市
秋山名華	足利市
椎名晴堂	足利市
山本祐子	足利市
須藤珠翠	足利市
新井康祐	栃木市
阿部桂舟	栃木市
阿部春禽	栃木市
大木真衣	栃木市
大屋理江	栃木市
金子芳清	栃木市
木村四葉	栃木市
栗原梅香	栃木市
佐山春翠	栃木市
佐山梛美	栃木市
嶋田公子	栃木市
白井薫苑	栃木市
須賀淑蘭	栃木市
杉山真理	栃木市
大門あゆみ	栃木市
高久知美	栃木市
髙橋春峰	栃木市
田名網萬靜	栃木市
林竹聲	栃木市
前橋司澄	栃木市
村上牛昴	栃木市
森戸梅仙	栃木市
渡辺祥蒲	栃木市
寺内有花	栃木市
富田明蘭	栃木市
中山ひらか	佐野市
林唐華	佐野市
吉田曄月	佐野市
桑子暉永	佐野市
中村晃雅	佐野市
板橋寿鶴	鹿沼市
齋藤超	鹿沼市

伊藤貴啓　鹿沼市
酒井貴寶　鹿沼市
菅沼寶眞　鹿沼市
半田縁　鹿沼市
渡邉司寶　鹿沼市
須永茜潮　鹿沼市
中村禮子　鹿沼市
岩渕春草　日光市
荒川實穂　日光市
田野辺寶燦　日光市
沼尾博鳳　日光市
皆川桂花　日光市
八木澤翠葉　日光市
石戸松波　日光市
風間香泉　日光市
坂下歸真　小山市
竹中義博　小山市
吉田桃香　小山市
板橋音依　小山市
岩崎匠音　小山市
齋藤尋美　小山市
滋野綾菜　小山市
清水白楊　小山市
清水柳絮　小山市
松島浩泉　小山市
望月颯人　小山市
山﨑秋月　小山市
山下颯介　小山市
石内寛子　小山市
塚原彩香　小山市
栁澤水聲　真岡市
岩田麗　真岡市
大畑佳暖　真岡市
大森智美　真岡市
髙山紗季　真岡市
宮崎晄華　真岡市
平野桐邑　真岡市
水上愛海　大田原市
佐藤孝　大田原市
関谷小雪　大田原市

川嶋奈美	大田原市
塩野玄機	大田原市
稲見和子	矢板市
長谷川華泉	矢板市
長谷川麻樹子	矢板市
山口利子	矢板市
深川耕心	那須塩原市
時庭黄葉	那須塩原市
中山昌美	那須塩原市
江面茉実	那須塩原市
笹沼映子	那須塩原市
人見祐子	那須塩原市
永井永平	さくら市
平石春水	さくら市
岡　花音	さくら市
川村彩乃	さくら市
津浦景子	さくら市
長山洋子	さくら市
平山楽華	那須烏山市
園城皓月	那須烏山市
亀井信子	那須烏山市
阿波昊玄	下野市
増山恭晏	下野市
川﨑美津	下野市
菊地芳子	下野市
小形則江	上三川町
北條正浩	上三川町
町井緑香	益子町
石塚清音	茂木町
大塚紫月	市貝町
石川雅子	市貝町
岩間幸子	市貝町
山口美圓	市貝町
石﨑　享	芳賀町
鈴木満里	芳賀町
高橋寶准	壬生町
塚田香蘭	野木町
日吉悠斗	高根沢町
松田芳美	那須町
平野凜陽	那珂川町

中田英史	茨城県
蓮見汀荷	群馬県
加地香泉	東京都
見目陽華	東京都

伊奈実	宇都宮市
伊奈克枝	宇都宮市
大塚文雄	宇都宮市
吉田三恵子	宇都宮市
備海進	宇都宮市
安納芳男	宇都宮市
粂川公江	宇都宮市
棚井行夫	宇都宮市
百目鬼アイ子	宇都宮市
篠崎隆夫	宇都宮市
島田敏夫	宇都宮市
小林トミ子	宇都宮市
大塚美智夫	宇都宮市
大塚雅子	宇都宮市
福冨誠	宇都宮市
阿久津榮子	宇都宮市
大岡博美	宇都宮市
角田久	宇都宮市
中山允雄	宇都宮市
岡田好行	宇都宮市
舟越久栄	宇都宮市
金澤誠	宇都宮市
鈴木徳夫	宇都宮市
長尾元信	宇都宮市
笠原正人	宇都宮市
杉山凡土	宇都宮市
桜井俊夫	宇都宮市
坂本敏克	宇都宮市
岡安栄一	宇都宮市
青野康廣	宇都宮市
渡邉正夫	宇都宮市
堀江京子	宇都宮市
小河久男	宇都宮市
橋本充夫	宇都宮市
齋藤賢治	宇都宮市
小畑清香	宇都宮市
矢嶋健次	宇都宮市

松本好夫	宇都宮市
加藤康二	宇都宮市
中川万里子	宇都宮市
大渕樹生	宇都宮市
堀井昭宏	宇都宮市
福井淳	宇都宮市
伴良夫	宇都宮市
菊地孝夫	宇都宮市
手塚孝	宇都宮市
吉川竜人	宇都宮市
宇賀神貞美	宇都宮市
小野寺展子	宇都宮市
塙寛	宇都宮市
並木成夫	宇都宮市
髙野敦子	宇都宮市
宮﨑知子	宇都宮市
宮本孝信	宇都宮市
小野澤ヒロシ	宇都宮市
杉原一弘	宇都宮市
出井佐久子	足利市
新井秀子	足利市
新井辰男	足利市
長島正典	足利市
野中章雄	栃木市
中野一郎	栃木市
新井大路	栃木市
福田信夫	鹿沼市
福田貢	鹿沼市
吉新博	日光市
小又進	日光市
松本和世	日光市
福田敬子	日光市
菅原英夫	日光市
岡本邦彦	日光市
阿部美幸	日光市
矢田正成	日光市
小野栄	日光市

手塚剛	日光市
萩原芳弘	日光市
渡辺新一	小山市
大垣裕史	小山市
髙岩重夫	小山市
川副幸子	小山市
持田慎一	小山市
飯島正信	小山市
海老沼清一郎	小山市
森嶋隆	小山市
小池五男	真岡市
藤井哲夫	真岡市
木村晴美	真岡市
石川武男	真岡市
齋藤一郎	真岡市
芝野尚一	真岡市
上野里子	真岡市
管野千代子	那須塩原市
笹沼聖輝	さくら市
高橋幸夫	さくら市
小菅祥一	さくら市
高橋あゆみ	さくら市
平石実	さくら市
金山徳秋	さくら市
塩野いくお	那須烏山市
須﨑秋雄	下野市
伊藤茂雄	上三川町
渡辺稔	上三川町
小川恒男	上三川町
小川かよ子	上三川町
大貫芳雄	市貝町
大塚芳彦	芳賀町
吉岡千恵	壬生町
吉岡栄	壬生町
根本文夫	壬生町
坂本良二	壬生町
中村貞雄	野木町

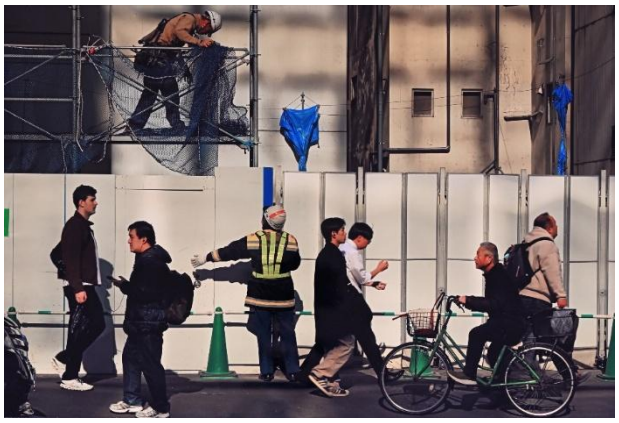
毛塚久世　　野木町
水森英雄　　野木町
見形聡美　　塩谷町
島田繁男　　高根沢町
加藤真弥　　茨城県

第８０回記念栃木県芸術祭美術展（日本画・書道・写真部門）

芸　術　祭　賞



日本画部門
「朝を待つ」　張　雪桐
（P50 号）



写真部門
「タウンワーカー」　森嶋　隆
（A3 ノビ）



書道部門
「兆祥」　花塚　香陽
（ﾀﾃ 90 ㎝×ﾖｺ 180 ㎝）